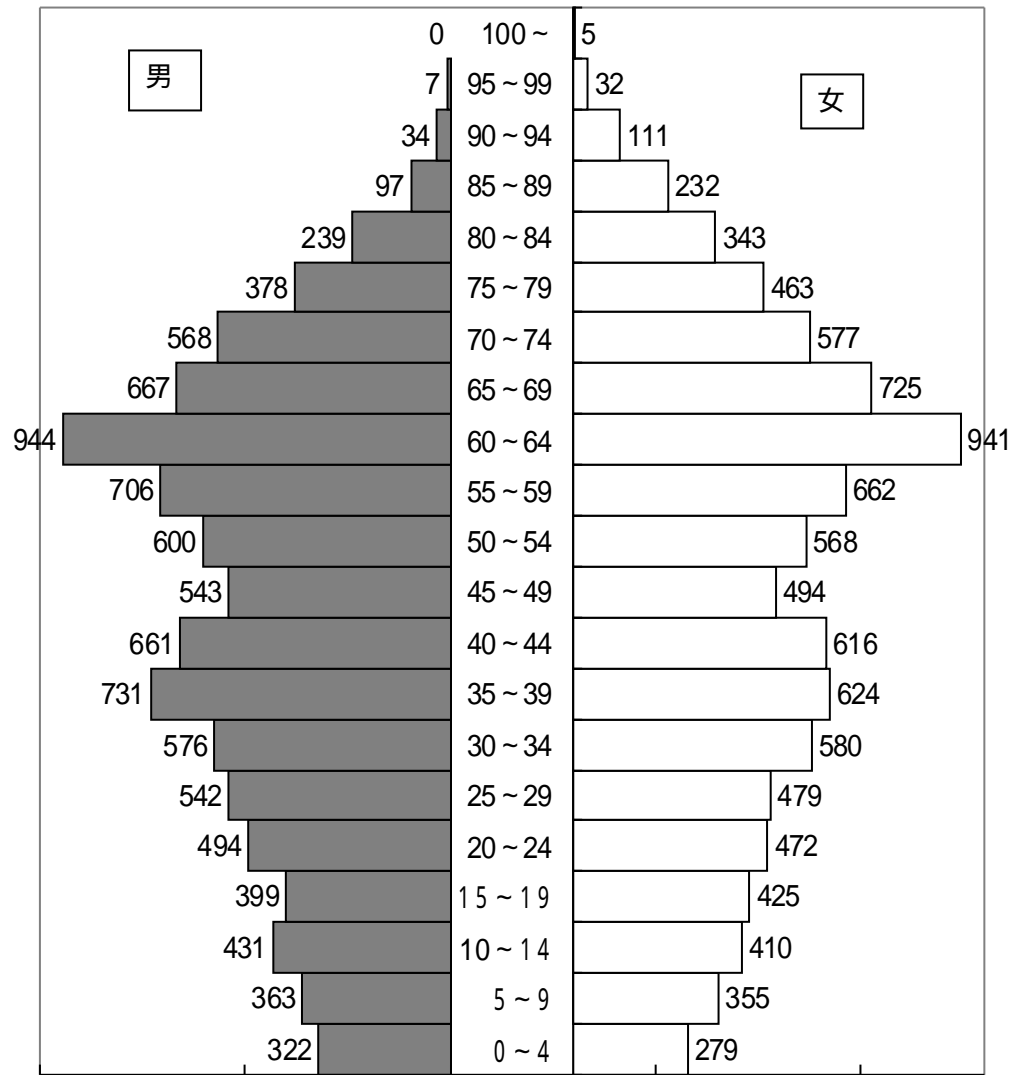


人口減少による負担増と大震災・原発事故をのり越えるため、  
誰もが働け、公正で、わかりやすく、無駄をやめるまちづくりを。

嵐山町の年齢別人口・18695人  
(2011年8月1日現在)

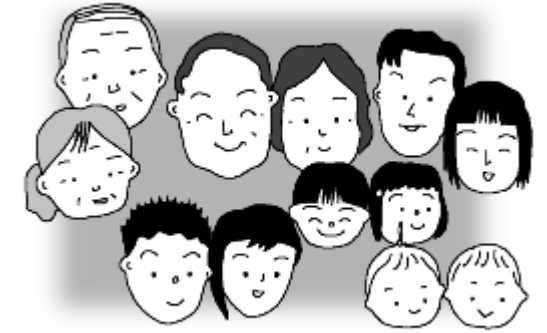


左上の嵐山町年齢別人口構成のグラフでは、60~64才まで男性人口が多いのですが、65才以上になると女性が多くなります。一人暮らしの高齢女性が多くなります。

左下のグラフは、嵐山町の総合振興計画で、将来人口の推定をしたものです。人口減少予測を少なめに、10年間で874人の人口減少にしています。

15才~64才が少なくなり、納税者数の減少で、税は減収になります。増税ではなく、働いて納税する人を増やすことが、まちづくりのポイントです。

シニアの方も適度な仕事を持つこと、男性のみが長時間労働するのではなく、男性も女性も働き方が適度で、地域活動に参加できる仕組みづくりが必要です。



女性や一人親家庭の人が安心して、仕事ができる子育てと仕事両立の環境整備が必要です。

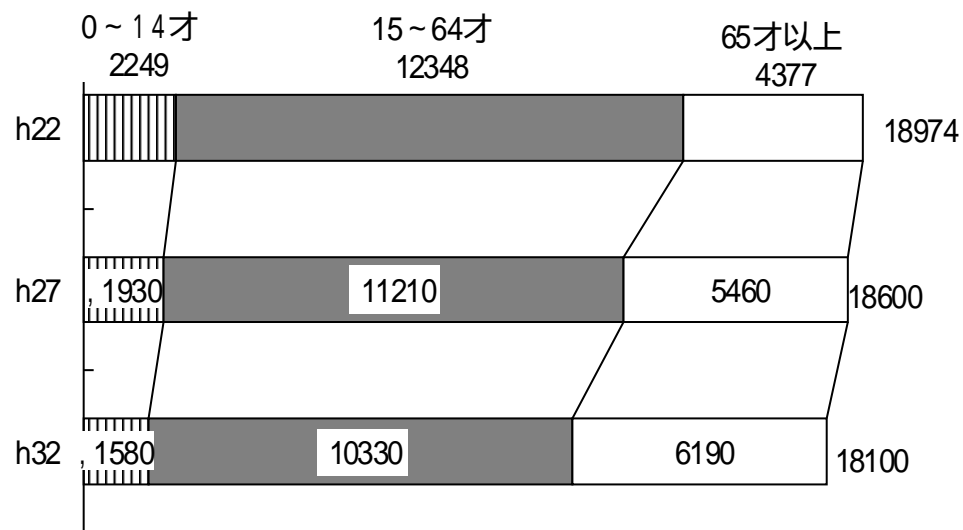
赤ちゃん出産後の女性の社会参加や  
育児支援を充実しましょう

病児保育や、緊急のときのサポートを  
充実しましょう。

子どもについて専門性のある指導員の  
いる学童保育で、充実した時間を。



嵐山町総合振興計画人口推計



シニア世代が、健康に働け、社会参加でき、身体が不自由になっても安心して生活できる見守り体制をつくりましょう。







